Hitonari Magazine Vol.12

―― ダイジェスト ――

みなと交流館 地域活動応援マガジン

発行者：hitonari編集部（みなと交流館）
発行日：2020年4月号　隔月発行

みなと交流館では、人とまちを元気にする地域活動（ボランティア活動・NPO活動等）を応援する取り組みを行っています。本情報誌は、地域活動に興味のある人や、既に参加している人に向けて、イベント情報、募集情報、助成金情報などをお知らせしていきます。

特　集

活動発表会に備えよう！多くの人に伝えるプレゼンのコツ

「活動発表会でうまく伝えられるか不安」
「プレゼンを成功させるコツを知りたい」
より多くの人々に活動内容を知ってもらうために、NPOでは発表会を開催する場合がよくあります。参加者に内容を正しく理解してもらうにはプレゼンで分かりやすく伝えることが重要です。
今回は活動発表会を計画している人に向けてプレゼンのコツを5つ紹介します。

伝えるために重要な5つのコツ

活動発表会のプレゼンを実施するうえで一番重要なことは「参加者に活動内容を理解してもらうこと」です。
活動内容が伝わらなければ伝えたい内容を理解してもらえず、プレゼンの意味がなくなります。
一方、分かりやすく活動内容を伝えることで参加者が理解でき、団体への支持を集めやすくなるもの。
良いプレゼンを実施することで一部の参加者から活動をサポートしてもらえる場合もあります。
これから活動発表会でプレゼンを担当する人は、参加者に理解してもらうために以下の5つのコツを参考にしましょう。

1.主張を先に伝える

プレゼンでは参加者に知ってもらいたい主張を一番最初に伝えることがオススメです。主張を先に伝えることで参加者が発表者の意図を把握でき、プレゼンの内容を理解しやすくなります。
より分かりやすく活動内容を伝えたい場合は「主張」「理由」「事例」「結論」の順番でプレゼンを進めることがオススメ。例えば、フードロスの削減を目的とするNPOの場合、以下のようなプレゼンを想定できます。

2.重要な部分を強調する

発表者が特に伝えたいポイントがある場合、重要な部分を強調することがオススメです。重要部分の強調により、発表者が伝えたい内容に参加者の意識を向けられます。
例えば、資料のフォントを一部大きくしたり、色をつけたりしてポイントを強調できます。「特にこの部分が重要で」と言ってから重要部分を参加者に伝えるのも有効です。

3.不要な部分を省く

限られた時間の中で活動内容をうまく伝えるにはプレゼンの不要な部分を省くことも重要です。たとえ自分が話したい内容であっても、活動発表会の趣旨と外れた内容はあまり伝えないことがオススメ。
無駄な話をしてしまうと参加者の意識がそれてしまい、発表者が伝えたい内容が忘れられてしまうリスクがあります。
参加者の理解を得るためにプレゼンでは必要なことだけ伝えましょう。

4.専門用語をあまり使わない

活動発表会の参加者は難しい知識に疎く、専門用語が分からない場合もあります。参加者に正しく情報を伝えるためには、なるべく専門用語を使わずにプレゼンしましょう。
どうしても専門用語を使いたいときは、その用語の意味を説明することをオススメします。

5.話し方に抑揚をつける

常に一定のスピードで発表者が話していると、参加者が飽きてしまい発表内容が伝わらなくなります。
重要な部分とあまり重要ではない部分で話し方に差をつけて、抑揚を意識することもプレゼンのコツです。

まとめ

今回は発表活動会でのプレゼンを成功させるために重要な5つのコツを紹介しました。発表者が意識しておくべきポイントは以下の通りです。

・主張を先に伝える
・重要な部分を強調する
・不要な部分を省く
・専門用語をあまり使わない
・話し方に抑揚をつける

参加者に活動内容をしっかりと理解してもらうために、コツを参考にしてプレゼンを行いましょう。

おしらせ・レポート

2020年2月8日(土)みなと交流館にて
SNS発信力UP！講座を開催しました

効果的に伝わるFacebook投稿のコツというテーマのもと、講師の谷浩明氏よりSNSで発信する内容を整理するポイントや効果的な発信方法、投稿する際の注意点等をじっくりと教えていただきました。その後、開催中だった「一食一善プロジェクト2019」の協賛店の寄付つきメニューの情報をもとに、店舗の紹介文を実際に考えるワークショップを行いました。様々な切り口で協賛店を紹介する文章が生まれるとともに、参加者が所属する団体等の情報発信にも活かすことのできるヒントを得ることができました。SNS等を使った情報発信については、みなと交流館でも相談にのれますので、お気軽にお問い合わせください。

【講座の様子】

みなと交流館の 地域活動応援イベント 報告

地域活動団体交流発表会 「八のカン詰」を開催しました

2月24日(月･祝)みなと交流館にて開催しました「八のカン詰」は、子どもから大人までたくさんの方々にご来場、ご参加いただき、あたたかい雰囲気の中、終了いたしました。
活動発表では、スクリーンに写真を映しながらの発表や、ステージでのダンスや楽器演奏、ミニコンサート、クイズなど、それぞれの団体さんが工夫をこらし、会場を盛り上げてくれました。
ブースでの体験では、楽しい!珍しい!おいしい!魅力的な体験に、子どもも大人もみなさん夢中でした。
ご来場、ご参加いただきましたみなさま、「八のかカン詰」を盛り上げていただき、本当にありがとうございました。

「一食一善プロジェクト2019」の寄付金分配結果

【開催期間】
2019年12月1日(日)～2020年2月29日(土)

【寄付金合計】
100,520円
（うち12月:37,030円、1月:30,420円、2月:33,070円）

【分配結果】

フレッシュレンジ	26,852円
朗読ボランティア どんぐり	14,816円
学生地域デザイナー2019 love area	24,047円
冬桜祭	15,726円
NPO法人 浜の会	19,077円

※端数の2円につきましては、「一食一善プロジェクト基金（仮称）」に積み立てさせていただきます。

【協賛店】
・海里
・笑話酒場 いちだい
・ピアレスト アイウォール
・お母んのまかない まる
・手造り弁当の道
・昭和水産 トロール市
・地鶏のごちそう。
・しまカフェ
・味和居Dining 敬 敬
・GLUTTON(グラットン)
・串呑家 坊主
・焼き肉やぐら 保内店
・めん処矢磨樹 保内店
・らぁめんもりもり
・おばんざい居酒屋 いごこち

☆一食一善プロジェクト2019は終了いたしましたが、ぜひ協賛店にご来店ください！！きっとステキな出会いが待っています♬
また、YouTubeにて今回の協賛店と寄付つきメニューのご紹介動画を配信しています。今すぐ「#一食一善プロジェクト」で検索！

みなと交流館の使い方

みなと交流館では、地域活動に関するご相談を随時受け付けしております。
ご相談は、予約優先となるため事前に予約をおすすめしています。
みなと交流館まで、お名前（団体名）、相談内容、連絡先をお知らせください。

【相談の例】
・団体の例会をしたいので、場所を貸してほしい
・今度イベントがあるので、広報に協力してほしい
・団体の来年度計画についてアドバイスがほしい
・情報発信、チラシを作りのポイントを教えてほしい
・〇〇できる人を紹介してほしい
・助成金情報や活動に役立つ情報がほしい
・新たに団体・プロジェクトを立ち上げたい
・ボランティア活動に参加したい
・会社のCSRとして、協働できる団体を紹介してほしい

みなと交流館の 団体登録 はお済みですか？

みなと交流館を利用する（ホール・会議室利用のみの団体を含む）団体（企業を含む）は、団体登録をお願いしています。まだ登録がお済みでない団体さんは、下記フォームからお手続きください。登録が済んでいるか分からない、登録内容に変更がある場合は、みなと交流館までご連絡をお願いします。

▼ 登録フォーム
http://www.minatto.net/groupentry

道の駅・みなとオアシス
八幡浜みなっと　みなと交流館

〒796-0087 愛媛県八幡浜市沖新田1581番地23
TEL：0894-21-3710（みなっと）
FAX：0894-21-3711（みないい）
MAIL：info@minatto.net
休館日　年末年始（12/29～31、1/1～3）
※電話は9時～17時まで受付しています。
※FAX・メールは24時間受付しています。

本情報誌は、みなと交流館の地域活動応援事業の一環として、より多くの人に地域活動に興味を持っていただくために発行しています。本紙の内容は、地域活動応援メディア「hitonari」（ひとなり）から一部引用して掲載しています。ご意見・ご感想は左記までお寄せください。

みなと交流館
地域活動応援事業